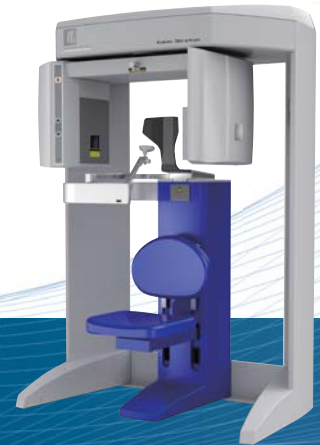


イーライン矯正歯科 院長

竹元 京人

矯正治療計画のグローバルスタンダードへ

画像は二次元から三次元へ。
豊富な画像情報によるリスクマネジメント



KaVo 3D eXam

使用機種：KaVo 3D eXam

導入年月：2012年4月

販売名：カボ3D

一般的名称：アーム型X線CT診断装置

認証番号：221AIBZX00026000

見えない矯正治療

私は「装置が目立たない方がいい」、「人に知られずに治療がしたい」という患者さんの要望に応えるため、当初から舌側からの矯正治療に取り組み、独自に研究・開発を行ってきました。開業当初は、舌側矯正は世界的にもまだまだ普及しておらず装置も洗練されていなかったため、オームコジャパン(現:カボデンタルシステムズジャパン株式会社の矯正部門)をビジネスパートナーとして、自ら舌側矯正装置のシステム開発にも携わってきました。イタリアのGiuseppe Scuzzo先生と共同開発したSTb(Scuzzo Takemoto bracket)は、前歯部のパッドがジンジバルオフセットでより舌側歯面近くにブラケットをボンディングすることができるため、ストレートワイヤー法での治療が可能となっており、舌側からの治療はもはや一部のエキスパートだけのものではなくなりました。STbは超小型であるだけでなく、ワイヤーと装置との摩擦抵抗を極力少なくしていますので、治療期間の短縮や痛み軽減など患者さんにも快適な装置であり、ドクター、患者さん双方にとってこれまでにない快適な舌側矯正治療を実現しています。



Customer Information

イーライン矯正歯科

東京都千代田区九段南 2-5-7

TEL : 03-3264-8814

URL : <http://www.e-line.or.jp/>

院長 竹元 京人 KYOTO TAKEMOTO

1979年 東京歯科大学卒業

1979年 東京医科歯科大学歯学部矯正科入局

1983年 竹元矯正歯科開業

1988年 イーライン矯正歯科開業

世界舌側矯正歯科学会 前会長

ニューヨーク大学 客員教授

フェアララ大学 客員教授

香港大学 客員教授

英国王立エジンバラ大学医学部 M-Ortho examiner ,Fellow

東京歯科大学非常勤講師

歯科用CT導入

矯正治療において今までの診断で把握することのできなかった部分が歯根の状態でした。昨今の矯正装置の改良により歯牙移動がより早くなってきましたが、歯根と歯槽骨の状態を把握することは大変重要なことだと感じていました。CT画像は三次元的に映し出される為、歯と骨の位置関係や骨の厚みなどを簡単に確認することが出来ます。いままでのエックス線撮影では二次元的な平面の情報しか得られなかった為、三次元で得ることのできる多大な情報により、さらに正確な診断が出来るようになっていきます。例えば、骨幅の狭い患者さんのケースでは、歯根状態をしっかりと把握しながら治療方針を立てることが可能で、リスクマネジメントを行いながら治療ができます。今では歯根状態を確認せずに治療計画を行うことは皆無で、今後矯正治療の分野において確実に診断すべきポイントとなることは間違いありません。(図1)

また、抜歯により口腔内の体積に変更が生じることで、舌位も変更することが確認されています。さらには舌位の変更により、気道が狭くなってしまうケースも散見されます(図2)。これも患者さんのQOL維持に注意を払い、安全に治療を進めていくために重要な診断の一部と考えています。

歯科用CTの画像情報は非常に豊富です。左右の対称性や顎関節の形態、上顎洞底の位置や歯軸の方向性の確認、過剰歯や埋伏歯の確認(図3)など様々な症例に活用することができます。将来的には外科矯正のシミュレーションやデジタルセットアップモデルによる歯根位置確認、さらには3Dボリュームデータからのより正確なセファロトレーシング(図4)など今後ますます活用の幅が広がります。



図1

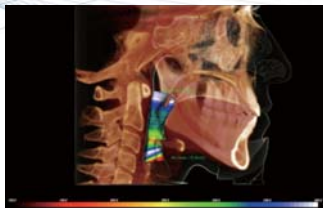


図2

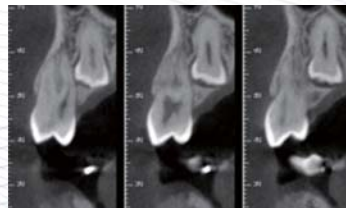


図3

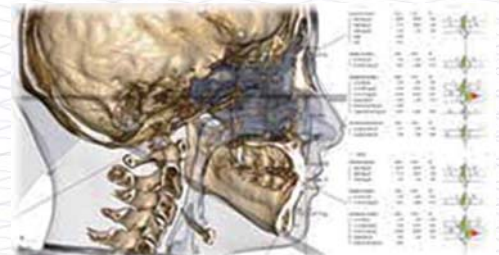
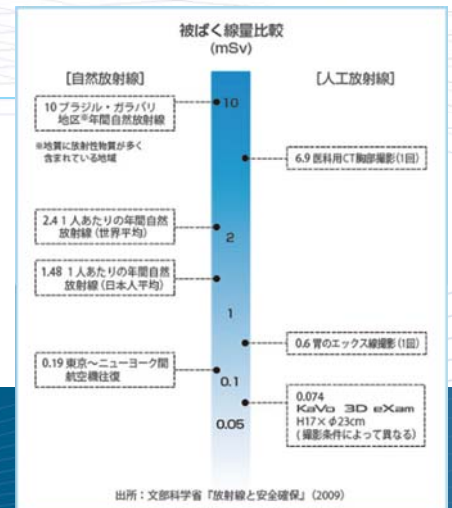


図4

重要な機種選択

このように応用の幅が広がる歯科用CTですから当然ながら気をつけなければいけないことが被ばく線量です。私が導入したKaVo 3D eXamはパノラマ撮影の約3枚分程度でCT撮影が可能という世界トップクラスの低被ばく撮影を実現しています。今後、医療被ばくを気にされる患者さんがますます増えると予測されるなかで、患者さんにより安心して治療を受けてもらうための私の機種選択に間違いはなかったと確信しています。



カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

東京本社 ● 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 Tel:03-6866-7480 Fax:03-6866-7481
 大阪本社 ● 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-5-2 Tel:06-7711-0450 Fax:06-7711-0451
 札幌営業所 ● Tel:011-716-4694 Fax:011-716-4692 ・ 仙台営業所 ● Tel:022-772-7375 Fax:022-772-7376
 名古屋営業所 ● Tel:052-238-1146 Fax:052-238-1567 ・ 福岡営業所 ● Tel:092-441-4516 Fax:092-472-1844

<http://www.kavo.jp>

VXCPTC1305V1 3DXI-021

※掲載されている写真にはオプションが搭載されている場合があります。

※製品の仕様等は改良のため断りなく変更になる場合がございますのでご了承ください。